

給報 AI-OCR 利用枚数で国内 No.1 を 2 年連続獲得 ～「Biz-AI×OCR」、自治体および BPO 事業者の業務効率化を支援～

佐川急便を中核とする SG ホールディングスグループにおいて IT 統括事業を担う SG システム株式会社(本社:京都市南区、代表取締役社長:丸山信二)は、AI を活用した OCR(Optical Character Recognition: 光学的文字認識)プラットフォームサービス「Biz-AI×OCR」が、株式会社東京商工リサーチによる「給与支払報告書(以下『給報』)※1 AI-OCR サービスに関する調査」において、2025 年 1 月～12 月の個人別明細書の利用枚数で国内 No.1 を獲得したことをお知らせします。なお、本調査における No.1 の獲得は 2 年連続となります。

また、総括表および個人別明細書を合わせた 2025 年の利用枚数は約 320 万枚に達しています。

■調査概要

調査項目: 給報(個人別明細書)AI-OCR の利用実績枚数

調査対象: 給報 AI-OCR サービス提供企業

調査期間: 2025 年 1 月～12 月

調査機関: 株式会社東京商工リサーチ



■「Biz-AI×OCR」給報向けサービスについて

SG システムは、2019 年に佐川急便の配送伝票入力業務を自動化する AI-OCR を開発し、月間 8,400 時間の作業時間短縮を実現しました。その後、これらのノウハウを基に「Biz-AI×OCR」を開発しました。

自治体ごとにフォーマットが異なり、高精度な読み取りが求められる給報は、従来 AI-OCR での対応が難しい領域とされてきました。SG システムは、自治体およびその業務委託先であるビジネスプロセスアウトソーシングベンダー(以下「BPO 事業者」)の入力業務負担を軽減するため、給報の読み取りに特化したサービスを開発し、2021 年に提供を開始しました。

提供開始後もお客さまの声を基に継続的な改良を重ねており、近年は BPO 事業者に加え、自治体による直接導入も進んでいます。2025 年に提供開始した最新版では、AI-OCR エンジンの改良により個人別明細書の読み取りエラーを前年比 20.4%削減し、平均読み取り精度は 99.2%に向上しました。さらに、仕分けエンジンの刷新により、従来の総括表と個人別明細書に加え、仕切り紙の自動判定にも対応しています。

■関連 Web サイト

・「Biz-AI×OCR」給報向けサービス(サービスサイト): <https://www.sg-systems.co.jp/lp/aiocr/>

・「Biz-AI×OCR」(当社コーポレートサイト内製品ページ): <https://www.sg-systems.co.jp/service/aiocr/>

SG システムは今後、税務システムとの連携強化などを通じてサービスのさらなる高度化と利便性向上を図り、

DXを推進する自治体やBPO事業者の業務効率化と生産性向上に貢献してまいります。

※1 給与支払報告書:住民税を算出するために、事業者が従業員に支払った給与額を自治体へ報告するための書類

※2 参考:国内利用枚数 No.1 の給報 AI-OCR、最新版を提供開始

<https://www.sg-systems.co.jp/news/20251222/>

<会社概要>

■SGシステム株式会社

SGシステムは、佐川急便をはじめとするSGホールディングスグループの各システムの開発・設計、保守・運用を行うシステムインテグレーション事業を中心に、グループ外のお客さまに対しても、コールセンターやバックオフィス業務代行を提供するBPO事業、代金引換サービスなどの金融サービスを提供する決済事業、グループ内での物流改善ノウハウを基に物流ITソリューションを提供する物流IT事業を展開しています。

本社:京都市南区上鳥羽角田町 25

代表者:代表取締役社長 丸山信二

設立:1983年2月17日

URL:<https://www.sg-systems.co.jp>

SGホールディングスグループは、純粋持株会社SGホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。